



炭 竈 ふく代 議員

放課後子ども教室の推進と 児童クラブの対象学年拡大を

問

放課後子ども教室推進事業（小学校の教室等を活用し、地域の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動を実施する事業）について、愛西市、美和・大治町が取り組んでいる（と聞いた）が、市に実施の考えはないか。

放課後教室は検討したが 当面は児童クラブを推進

答 社会教育課長

いろいろな角度で検討・協議したが、当面、児童クラブ事業を推進していきたい。

問

週に1、2回実施や、児童数の少ない学校からモデル事業として始めることができるか。

答 社会教育課長

(1) **答** 児童課長
桜、弥生、白鳥は定員



▶おやつを食べる児童
(弥生児童クラブ)

問

再度、学校と協賛し、推進に向けて検討していきたい。

児童クラブについて、次の事項を尋ねる。

- (1) 現在の待機児童数
- (2) 今後の定員数と対象学年（現在、小学3年生まで）の拡大

いっぱいだが、今のところ待機はない。

答 市長

- (2) 子育て支援に対しては、さまざまな角度から環境整備をしているところである。20年度の計画として、校区に（2カ所目の）児童クラブも検討している。

中学生男子に防犯 ブザーの配布を

問

学校防犯対策として、中学生男子生徒にも防犯ブザーを配布すべきと思うがどうか。

全児童に配布して おり、考えていない

答 教育課長

小学校の全児童に入学時、防犯ブザーを配布している。家庭で管理をし、中学校でも使用してほしいと考えており、中学生への配布は考えていない。

ごみの集積場所の 見直しを

問

ごみの集積場所について、次の事項を尋ねる。

- (1) どのように決められているのか。
- (2) 高齢者や弱者が便利に安心して出せるよう、場所や回収方法の見直しを市全体で考えていくべきではないか。

一定戸数で集約する 原則を守ってほしい

答 環境課長

- (1) 新設、変更とも原則は地域で決め、区長に届けを提出してもらっている。

答 市長

- (2) 高齢者等に便宜を図ることは行政の基本的な姿勢であると思うが、集積場所では一定戸数、または地域で集約をしてもらい、そういった中の原理・原則というものを守ってほしい。